学部

ディプロマポリシー

4年以上在学して所定の単位を修得し、授業および卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士（知的財産学）の学位を授与する。なお、特に優秀な成績を修めた者は、３年間で卒業し、知的財産専門職大学院に進学することができる。

（1） 人文・社会科学、自然科学を含め、知的財産の創造、保護および活用を行う上で必要となる幅広い教養を身に付けそれらを活用できる。【基礎学力、教養】
（2） 知的財産法を法体系に基づいて理解し、その理解を知的財産の創造、保護、活用のために応用することができる。【知的財産法の体系的理解力、法的思考力】
（3） 知的財産の創造、保護および活用のために必要な技術、意匠、ブランド、コンテンツまたはビジネスに関する知識、ならびに知的財産を経済社会で活用するための実践的能力を身に付けそれを実践できる。【技術、意匠、ブランド、コンテンツ、ビジネスに関する理解と実践力】
（4） 知的財産関連実務で生起する課題を自ら発見でき、その解決のため調査、検討を行うことができる。【問題解決力】
（5） 知的財産のグローバルな創造、保護および活用を行うための、英語力と国際性を身に付け活動できる。【国際性】
◆注：【 】はディプロマ・サプリメントシステムにおける学部および学科のディプロマ・ポリシー達成度項目を明示

分野別到達目標	学び方と学びの基本となる能力を身に付ける。	グローバル社会で使える英語力を身に付ける。	知的財産の創造、保護、活用に必要な幅広い教養を身に付ける。	知的財産法を学ぶ上で基盤となる基本的な法律の基礎の理解を深める。	知的財産業務の基本となる主要な知的財産法の基礎の理解を深める。	ビジネスにおいて知的財産を活用するための基本的な知識や手法の理解を深める。	知的財産に携わるために必要な知識の理解を深める。	知的財産に関する専門的力量を培い、自分の研究をまとめあげる。	知的財産の実務に使える英語力を身に付ける。	これからの自分の人生設計を考えるとともに国際性を身に付ける。	英語の基礎力を定着させ、知的財産に関する知識を総合的に整理する。	卒業に必要な単位数 124単位
配当単位数合計	10単位	11単位	32単位	32単位	20単位	49単位	36単位	4単位	8単位	20単位	10単位	232単位

4年 通年
●卒業研究

3年 後期
● 必修科目
情報技術とコンテンツビジネス 2
ベンチャービジネス論 2
経営戦略論 2
海外のエンタテインメントと法 2
メディア論 2
文化と知的財産・ビジネス概論 1
国際知的財産探求 6
コンテンツ知的財産探求 6
特許意匠探求 6
知的財産経営探求 6
ブランド&デザイン知的財産探求 6
著作権ビジネス探求 6
● 研究基礎演習 4
知的財産専門英語 II 2
知的財産専門英語 I 2
英語プレゼンテーション 2
ビジネス英語 2
知的財産中国語 2
インターンシップ 2
知的財産総合応用 II 1
知的財産総合応用 III 1
知的財産総合応用 I 1
日本の伝統と文化 2
民法 III 2
会計学 2
国際関係法 2
民法 II 2
訴訟手続論 2
不正競争防止法 2
特許手続 2
海外の知的財産制度概論 2
イノベーションと企業戦略 2
コンテンツ知的財産概論 2
知的財産インターンシップ 2

3年 前期
法学英語基礎 II 1
知財と機械・電気技術 2
知的財産専門 II 2
マーケティングとブランド 2
工業デザインと知的財産 2
コンテンツマネジメント概論 2
デザインマネジメント 2
現代技術と特許 2
知財と化学・生命科学 2
国際知的財産法 2
著作権法 2
特許法・実用新案法 III 2
メディア英語 III 1
メディア英語 II 1
メディア英語 I 1
資格英語 II 1
資格英語 I 1
日本の文化と社会 II 2
生涯スポーツ II 1
心理学 2
歴史学 2
美術史 2
倫理学 2
行政法 2
民法 I 2
経営学入門II 2
中国語と現代中国事情 1
キャリア形成 II 2
展開ゼミナールb 2
知的財産総合入門 II 1

2年 後期
意匠法 2
商標法 2
特許法・実用新案法 II 2
知的財産専門 I 2
ブランドマメジメント 2
エレクトロニクス概論 2
コンテンツプロダクション概論 2
知財と情報・通信技術 2
中国語コミュニケーション 1
キャリア形成 I 2
展開ゼミナールa 2
知的財産総合入門 I 1
日本の文化と社会 I 2
生涯スポーツ I 1
法学英語基礎 I 1
権利侵害論 2
経営学入門I 2

2年 前期
知財リテラシー 2
健康体育 II 1
言語表現技術 II 2
受信英語 II 1
発信英語 II 1
日本語 II 2
化学 2
文学 2
哲学 2
経済学入門 2
● 知的財産とビジネス入門 2
● 私法入門 2
著作権法入門 2
● 特許法・実用新案法 I 2
キャリアゼミナール 2
基礎英会話 1
生物科学 2
日本語 I 2
地球科学 2
社会学 2
健康体育 I 1
言語表現技術 I 2
基礎ゼミナール 2
受信英語 I 1
発信英語 I 1
情報活用基礎 2
産業社会と知的財産 2
公法入門 2
知的財産法入門 2
大阪技術学 2
現代技術と産業 2
海外語学研修 2
知的財産研修 2
OIT概論 1
基礎英語 1

1年 後期
1年 前期

分野	導入領域	教養領域 英語科目	教養領域 一般科目	専門領域 基幹科目	専門領域 知的財産法科目	専門領域 技術&専門科目	専門領域 探求科目	専門領域 研究科目	展開領域 実践英語科目	展開領域 展開科目	その他連携領域

単位数												
44単位	46単位	45単位	36単位	26 単位	35 単位	90単位	81単位	61 単位

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに示した能力を有する人材を育成するために、下記方針に基づきカリキュラムを編成する。
(1) 導入領域および教養領域、展開領域、連携領域における諸科目を通じて、知的財産に関わる専門職業人に求められる幅広い教養と社会人基礎力を身に付ける。
(2) 専門領域の基幹科目と知的財産法科目および技術＆専門科目を通じて、知的財産法を体系的に理解し、その理解を知的財産の創造、保護、活用のために応用する能力を身に付ける。
(3) 専門領域の基幹科目、技術＆専門科目、探求科目および研究科目を通じて、知的財産の創造、保護および活用のために必要な技術、意匠、ブランド、コンテンツまたはビジネスに関する知識、ならびに数理・データサイエンスをもとに経済社会の現状を捉える手法を修得することで知的財産を経済社会で活用するための実践的能力を身に付ける。
(4) 専門領域の探求科目と研究科目を通じて、知的財産関連実務において生起する諸課題を自ら発見し、その解決のための調査、検討を行う能力を身に付ける。
(5) 教養領域および展開領域の実践英語科目、専門領域の国際法・比較法関連科目を通じて、知的財産実務で活用できる英語力と国際性を身に付ける。

年間履修上限単位数
44単位

アドミッションポリシー

知的財産学部知的財産学科は、知的財産の創造・保護・活用という知的財産創造サイクルの各段階において、大きな役割を果たすことができる総合的・専門的人材を養成します。このために知的財産に関する関心と意欲を強く持って真摯に学修に励み、意欲的に自己を成長させる人材を広く求めます。

〈求める人物像〉
（1）知的財産に関する専門能力を有する専門家として産業界での活躍をめざす人
（2）知的財産に関する専門資格を有し、知的財産の創造・保護・活用への貢献ができる人材をめざす人
（3）企業等において知的財産を理解する人材として幅広く活躍できることをめざす人